



シェルム弦楽四重奏団

東京公演2025 Vol.2

信時潔 絃楽四部合奏

ハイドン

弦楽四重奏曲第78番

《日の出》作品76-4

キモサベ 街の男

ヴェルディ 乾杯の歌

シルヴェストリ

バック トゥー ザ フューチャー

コリア スペイン

2025 **10/2** 木

成城ホール 19:00開演 18:30開場

チケット 一般 3,500円 学生2,000円(全席自由/税込)

※当日各500円増し ※未就学児の入場はご遠慮下さい。



シェルム弦楽四重奏団東京公演2025Vol.2

Pコード 305-640

【親子室(各定員3名で2室)、車椅子席(3席)のご購入は、当団へ直接お問合せ下さい。】

主催 シェルム弦楽四重奏団

令和7年度世田谷区地域文化芸術振興事業補助金事業

【問合せ・申込み】 マツノキ schelm.string.quartet@gmail.com

世谷
芸術百華



シェルム弦楽四重奏団

シェルム弦楽四重奏団は、2014年に、日本を代表するヴァイオリニストの一人である木野雅之と、国内外で活躍中の若手音楽家3名により結成された。弦楽四重奏やクラシックの魅力を日本や海外の人々に感じてもらう事を目的に活動している。シェルム(独:いたずら好き)の名を冠する通り、遊び心に溢れた演奏をモットーとしており、2019年より新メンバーの細井唯が加入し、更なる躍進を続けている。2014年の国内ツアー以降、国内で演奏するのみならず、2015年以降インドネシアやマレーシアなどの国々で公演やマスタークラスを定期的に行っている。熊本県人吉で行われた球磨川音楽祭に招聘され出演、CD、DVDも発売中。2015年より毎年訪れているインドネシアでは、その功績を認められ、2019年にインドネシア国立芸術院(Institut Seni Indonesia)パダンパンジャン校より客員教授のタイトルを授与された。

木野雅之 [第1ヴァイオリン]

桐朋学園を経て、1982年ロンドンのギルドホール音楽院に学び、名匠イブラ・ニーマン教授に師事する。音楽院卒業後、ナタン・ミルシュタイン、ルッジェーロ・リッチ、イヴリー・ギトリス等3人の巨匠に師事し研鑽を積む。ロドルフォ・リビツァー国際ヴァイオリン・コンクール、カール・フレッシュ国際ヴァイオリン・コンクール他、多くの国際コンクールで優勝。ソリストとしてロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン交響楽団、ポーランド国立放送交響楽団、モスクワ放送交響楽団、ロンドン・モーツァルト管弦楽団等と共演。国際音楽祭への参加も多く、海外での活躍も盛んに行われている。名古屋フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターを経て、93年4月より日本フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターに、02年7月よりソロ・コンサートマスターに就任。多数のCD、DVDが発売中。世界各地での活動のほか、東京音楽大学教授、桐朋学園大学、武蔵野音楽大学講師として後進の指導にあたっている。JASTA(一般社団法人日本弦楽指導者協会)顧問。使用楽器は恩師ルッジェーロ・リッチから譲り受けた1776年製ロレンツォ・ストリオーニ。

池田開渡 [ヴィオラ]

東京音楽大学付属高校を経て同大学卒業。2003年オストヴェスト音楽祭(オーストリア)参加。ディプロマ取得。ウィーンでの修了演奏会に出演。第57回、61回全日本学生音楽コンクール全国大会入選。第5回大阪国際音楽コンクール、エスポワール賞受賞。第45回北九州芸術祭クラシックコンサートにて、グランプリ、福岡県知事賞受賞。2009年～2014年、バイエルン州立青少年オーケストラ(ドイツ)にヴィオラ首席として招聘され冬季演奏旅行に参加。これまでに九州交響楽団、湧き上がる音楽祭祝祭管弦楽団などと共演。ヴァイオリンを景山誠治、木野雅之両氏に師事。2012年～2014年東京音楽大学芸祭フィル指揮者。コンサートをはじめ、小学校での芸術鑑賞教室やレコーディングなどでオーケストラを指揮。指揮を佐藤宏充、時任康文両氏に師事。現在、シェルム弦楽四重奏団、ビトレ弦楽奏団メンバー。おーけすとら・びとれ座座長。演奏活動に留まらず、演奏会の企画運営、トイ楽器の製作など幅広く活動しており、東京スカイツリー展望シャトル内楽曲のプロデュース、演奏も手がけている。

松野木拓人 [第2ヴァイオリン]

東京音楽大学卒業、同大学大学院科目等履修生修了。2012年には東京国際芸術協会、国際芸術連盟全日本演奏家協会オーディションに合格、新人演奏会に出演する。同年の第2回チャイコフスキーピアノトリオオーディション第2位。New York Symphonic Ensembleの2013年全国演奏ツアーにフェロシップメンバーとして同行。また同年より東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団等のエキストラ奏者を務める。2018年よりNew York Symphonic Ensemble ヴァイオリン奏者兼オーケストラマネージャーに就任。2014年、恩師である木野雅之氏と共にシェルム弦楽四重奏団を立ち上げ演奏ツアーを企画。好評を博し、以後定期的に国内ツアーを行っている。2015年には同団で国際交流基金と日本大使館後援のもとインドネシアの国立芸術大学(ISI)等複数の施設にて演奏会・マスタークラスを行い地元紙にも取り上げられる。2016年以降も毎年同活動を続けており、2018年にはマレーシアでの演奏ツアーも行った。これまでにヴァイオリンを井上将興、清水高師、木野雅之、横山俊朗、中村幾代、S.Engの各氏に、室内楽を荒井英治、店村真樹の各氏に師事。

細井唯 [チェロ]

東京音楽大学弦楽科を首席で卒業。在学中に給費奨学金を得る。卒業演奏会、読売新人演奏会に出演。第54回鎌倉学生音楽コンクールチェロ部門第1位及び野村光一賞受賞。2016年宗次ホール弦楽四重奏コンクール聴衆賞受賞。プロジェクトQ第10章、ピヨラスベース2013ヒンデミット弦楽四重奏曲全曲演奏会、プロジェクトQ第11章、JTが育てるアンサンブルシリーズ、北九州国際音楽祭、武生国際音楽祭、などに出演。アレクサンダー・ヒュルスホフ、ウェン＝シン・ヤン、ダヴィド・ゲリンガス、グスタフ・リヴィニウス、フランソワ・サルク各氏のマスタークラスを受講。これまでにチェロを久保田顕、佐藤明、久武麻子、菊田雅治、ドミトリー・フェイギン、中木健二の各氏に師事。



シェルム弦楽四重奏団
公式Xアカウント